

## 音声記録の反訳文（令和 2 年 9 月 30 日）

### ○石丸市長

それが都合が良くて都合が悪い、勿論見せ方、大事です。ただ、都合が悪い話を隠すというのは代表者としてはどうなのかな？と思いますので、あの、ツイート、ツイッターというのは呟きという意味なのですが、呟いたわけでは無い。熟考に熟考を重ねて 140 文字いつも綴っていますので、その趣旨で僕はあの投稿はされています。

### ○A 議員

あの、わしもたまたま若い人からツイートの、ツイッターのコピーを頂いたんです。で、わしはその人に返したんです。たしかにいびきはあったけど、わたしが感じて確認したのはわたしの後ろの傍聴席だったんだよ。たしかにいびきはあったけど、議員じゃなしに傍聴席じゃないですか？っていうて返したんですよ。そしたらその人から、いやいや、議員席からもしびきが聞こえて、居眠りしよって、まあ具体的には〇〇さんがさっき、あの、ご挨拶というか、謝罪されましたんで、じっとして確認できたんで、で、まあ、〇〇議員さんも横におって、おこしておられて、これもさっき聞いたことでいえば、普通じゃなかったと、病気だったと、というようなこともあったんで。まあそんなことがあったんかと、私は真後ろで、あの、いびきも寝取る状況もそんなに確認できてないんで。その人の位置はね、傍聴席の真ん中で一番前におっちゃった若い人だったんで。そういうことなら両方あったんですねと。私は後ろで聞いて、で、わしがいびきをしたんかなと思ったり、すぐ後ろだったけえね。じゃけまあ、多少うつうつすることもあるんで、そりゃあ、議員もうつらうつらいうかね、まあ議員の一般質問では特に、それぞれの議員の思いを喋るんで、他の議員さんは逆に言うたら興味がなかったら、ちょっとまあそうなることも、そりゃ当然あるし。それが議員というものなんで、基本的にはそれぞれの思いというのが、15 人おれば 15 人あったり。そのことのやりとりをして、興味があつたらわたしらも聞くし、あまり興味がなかったり、何となくこう、やりとりがわからん、そんなやりとりならちょっとうつらうつらすることもあるよっていうことは僕もかいたんです。その上で事実が確認できたんで。まあそれにしても、まあ今、〇〇議員さんもおっしゃったように、ちょっと普通じゃない病気ゆうことやったんで。だったら、市長が見えたんなら、わしは事務局に言ったんです。議長は議長席で、執行部も議員席も全部見える位置におる。そりゃ、そのために議場整理権が全て議長にあるんだから。で、それを補佐するのが事務局なんで。そういった事態があつたんなら、議長なり事務局が注意をしてそれを正すべきなのが、議場整理権を持つ議長の役割じゃないんですか？と。その上で市長がそういったことを言ったということは、今後のことに対して整理しとかにやいけんから、一旦、市長の思いも含めて聞いておかにやいけんのじゃないですか。それでお互いが共有認識を持っておかんと、今後、そういったことが自由に歩き回ると、市民の皆さん、その部分だけを見て正しいと思う、それはあまり良くない

んじゃないですか？だから市長にも確認して、今後そういう事実関係をきちんと確認した上で、正確なものを出していただくというのが市長としての役割じゃないかなと。市長の言葉というのはやっぱり重いんで。まあトランプは好きなことやってますけどね。まあそれはそれとして、良いのか悪いのかわたしにはわかりませんが、安芸高田市の市長としてのあり方としたら、そこはもう少し考えてチェックをしながらやった方が良くないんじゃないですかということを、ラインにも返したし、その人ともやり取りをして、そういう、まあ事実にはのこってますけども。そういう意味で、早く市長と議会が集まって共通認識を持った方がいいんじゃないですか？ということをわたしは申し上げたんで。だから、市長の認識というのを確認して、いやそれは違いますよ、というのがあれば、我々も話をしとかなければいけません。そういうことで今日の、早いことしてもらわんと、日々そういった話が出てくるんで。

### ○石丸市長

ありがとうございます。この、事実確認云々というところに関して申し上げますと、もう、ありのままの事実ですね、私がツイートしたものは。それ以上の私の判断というのは、そこに入っていなかったはずですね。個人を特定することもせず、まあ少なくとも1人というのは書きましたけども。はい、という風にしてあります。ごめんなさい、ご当人を前にしてこの話を続けてしまうご無礼をお許しください。あの、で、その事実の先なんですけども、そういう時代になってます、まず。私がこう言った。いやいやそうじゃない、というのは反対意見のある人が言わないといけないんですね。自分で、いやいやこっちでしたこっちでしたこっちでしたこっちでしたという、全部の説明はこの広大な世界、不可能です。これは良し悪しあります。このインターネットの発達によって情報発信が極めて簡単になった。弊害はあるんですが、格段に便利になってます。それを市民の方は活用されてますし、我々、市政に携わる人間も使わないといけないと思ってます。で、その上で私がどこまで確認して説明するかなんですけど、私は最低限の説明責任は果たしたと判断して、あのツイートになってます。まあ〇〇さん、〇〇議員の席からはちょっと良くわからなかった状況かと思うんですが、私の席からすると、もう一目瞭然の光景が、皆さん2日間に渡って拝見させていただきます。さっきも告白ありましたが、まあ居眠りはされると思います。という事実を私はそこで市民に共有してみた、というところなんです。で、本当の私の思惑というか、狙いというのは、まさに今の瞬間です。あんなことでもなければ私ここにいてとうとうと喋る機会無かったと思うんですね。で、もっと言うと、さっきの話ですけど、居眠りをする、しちゃうというのはよくわかります。だって喋らないんですもん、1日ずっと。で、なんかよく知ってる話だったり、興味が遠い話だったり。であれば、その体制を刷新していただきたいなと思ってます。もう形式的にこういうものだからこれまでもやってきたし、これからもやる。だと、また寝ますよ、これ絶対に。絶対皆さん一回は寝ると思います、がくっと。私ももしかしたらくるかもしれないです。聞く立場でありながら。じゃなくて、これは

いけんぞと、いや、個人のあれじゃないです。それを越えてます。枠組みとして歪んだらというのを是非市民の人にも知ってもらいたかったですし、なにより議員の皆様、現職の皆さんにその認識をちゃんと持ってもらわないことには、これはなかなか進まない。それこそ市民の政治参画進めようといっても、皆さんが最前線で聞いてて眠たかったら、市民の人も眠たいですよ。どう考えても。ですので、無礼を承知でツイートもしますし、・・・今もまた、とうとうと申し上げているのは、ちょっと変わらんといけんのかなという、そこに尽きます。

#### ○A 議員

変わる必要があるところは変わらんといけんと、私も思います。でも事実は事実かもわからんけども、背景にはいつもそういうことがない〇〇さんがそういう状況になる、下手をすると無呼吸でというようなこともあるんで、そういう意味も含めて、議場を整理する立場の人はきちっとそういう状況を見たら、ちょっと休憩をとってでも、あるいは眠たくなるような状況が続けば休憩でもとってね。

#### ○石丸市長

それこそ質問と答弁の形が良くないですよ。同じ、あつ、さっきも聞いたなこの質問みたいな、ごめんなさいね、言ってしまいますけども。何回もやってしまうわけじゃないですか、皆が。それは皆さんのお立場として、個々の議員の人は主張しないといけない。魅せ場です。事情は重々承知しているんですが、それじゃあ皆辛いんですよ。市民が辛いと思います。

#### ○A 議員

議会基本条例に基づいてもね、議員同士のアンケート、これは市長は見られておらんのですけども、回答せないけんことが一杯あるという、議会というのは今 18 人の 15 人ですけども、一人一人が全て一人一人の主張というのは認められとるわけなので、市長と一対一になれば、選挙で選ばれた一対一の政治家なので、そこは尊重しないといけんので。それが議会というのは非常に難しいんですよ。一本化したら意味がないし、ある程度一本化しないといけないという議会という有り様があるんでね。そのせめぎ合いの中で色んなことがうまれているということがあるんで。市長が辛いことばっかりじゃ中々できにくいというのが現状、それを議会基本条例を付加していったもので政策議論きちんとできるようにしようとか、市民にわかりやすくしようとか、それこそ改革をしようということで議運の委員長を中心にやってきたんで。そこらも一回見とってください。

そういう状況の中で、今市長のおっしゃるように改革というのは当然すべきことが一緒にしないといけんということもある。

#### ○石丸市長

議会の運営、それこそ一般質問のやり取りについては、私なりに勉強させていただいてまして、それこそ各個別の人数か、事業ごとにまとめるか、色んなやり方があると思

います。それこそ世界中ですね、あると承知しております。その上で、今この形になっているのは、それなりの各議員さんの質問する権利ですね。これを重視しているということなんですが、はたしてこれが、今もこれから、一番大事なのか。皆で必死に眠たさをこらえる我慢大会を続けていいのかというのは、改めてちょっとこの機会にですね、ご検討いただければなと思っていますところです。

#### ○A 議員

まあねえ、選挙が近いからねえ。だから、石丸さんは石丸市長としてのアピールをしながら選挙に関わって、議員というのはそれぞれのやり方で選挙に関わっていくということなんで、それはあんまり縛ることはできんですよ、逆に言うたら。なんで政治活動を縛らんかということになると、そこが非常に難しいんですよ。議会の、議員を議会という形で機関としてまとめるというのは本当に難しい。その辺のことを承知の上で、まあ、今のような課題をどう整理するかということなんですけども。今回のツイッターの問題を紐解くと、事実は事実なんだけれども、そのことは〇〇さんが自分で手に取って、あの、話をされたというのは聞きましたけども。まあそれはそれとしてまた明らかになりよる、その背景に何があったかというところを、市長と話を直接されたのなら、そのことも含めてね、まあここで、なんか謝罪に来られたとかいうのを若い人から次のツイッター、3段ぐらいのツイッターだったかな？その分で、その分は見てないけど聞きましたけども。そういったことも含めて、きちっと事実をさらに積み重ねていかれるというのも、その人を尊重するということになるんでね。

#### ○石丸市長

ちなみに、その辺で申し上げますと、謝罪をいただきましたというのも、これまたツイートにあがっています。まあ顛末じゃないですけど、こういうことでしたというのは、はい。ただ、あまりにも細部のところは、個人の状況に関わるものですので、私からは言及を当然控えます。

#### ○A 議員

だからその辺のね、表現の仕方が難しいんですよ。ある程度事実を伝えるにはそこまで掘り下げんといけんし、そこまですると今度はプライバシーの問題になる。だから最初の発信というのは非常に慎重にやらざるをえんという、私は気がするんです。だから最後までどうなるかというのを見極めて、特に一般傍聴者がやられたんだからしょうがないという見方もできるけども、市長という立場であつたら、やっぱり皆さんの見る目というのは、公的な人がそういう話をしたんだから、そうだろうと、全部、それこそマスコミが言葉とか武器にすると一緒にね、それだけの影響力があるということなんでね。そういうツイッターの出し方というのは非常に慎重にやるべきだろうというのを私は感じました。そのところを確認をしておいてほしいということです。で、議場での問題というのは議場として、議会が整理をしなければいけないということも今回ありましたという、問題提起をしたということなんです。それをお互いにきちっと整理しあ

っておかないと、今後証拠があるということで、まあ、我々の議会、議員の生命としては一旦終わりますけども。そういうところをやっておかないと、次にもあると思いますし。ずーっとこんな時に時間もあるかもわからんし。なおかつ、選挙が今から始まるんでね。そこに影響を、市長が〇〇を落とすためにこういうツイッターを出しとるんかってやられたら、たまらんですよ。

#### ○石丸市長

でもやるかもしれないですよ。そこは私の政治活動ですよ。ただ、ごめんなさい。今ちょっと極端な例を出しましたが、市長にのるのらない、あいつは良い悪い、あって自然だと思います。誹謗中傷の合戦になっては意味がないですね。見ても気分が悪いです。市民は喜ばない。ただ、私は批判というものは必要だと思ってます。これがないと、健全な発展はないです。これは、個人においてもそうですし、組織においてはなおさらです。批判がなければ政治は絶対ないので、その点に関しては私が生きてる限りにおいては、そのようにしていこうと思います。

#### ○A 議員

まあ私もどっちかという批判的なことを言うて…

#### ○石丸市長

それほどではないと、私もないと…

#### ○A 議員

うわをいくような感じはするけどね。まあそれはお互い様で。

#### ○副議長

皆さん、他に…はい、山根議員

#### ○やまね温子

今のお話聞いてて一番最後の方で、最後の方になったんですけど。ツイッターを、まず初めの方に入らせていただきますけども、(ツイッターを) 見せて頂いて一番初めのいきいきを聞いた 30 分。その後にはですね、「市民の関心により生まれる政治の緊張感がまだまだ足りないという証左なのか？」という。その後には付ける自分というのは、それでまた、ツイッターを見る方に考えさせる。今この一文を読むと、「ああ、緊張感のない議会なのか。緊張感のない議員がいるのか」と。そういう風にもう受け止められるのはわかります。だから、それは後から謝罪に行かれた。その中で、病気というか体調が悪かったというのはわかれたと思います。私は見える化は良いと思うんですけど、あえて見せる化を、現状はそれとおりに出されていると思いますけど、それがどういうことで起こったかということも、人間ですから色んなことがあるので、そこまで思いをはせてやることも必要ではないかと。

で、今、是々非々で議員をやるものだとも私もありますが、どう言うんですかね、是々非々以上にやると、今までの議会って私から見ると(市長の) 追認機関というようなところを強く感じます、多数決ですから。そこでもって、今一番最後の方で言われた、市

長が、今まさに言われた（市長が議員を落とすために批判のツイッターを出す）ことが、はっきりと覚えてらっしゃると思いますけども、それをされた場合、議会を牛耳ることも可能となる。そんなこともされるつもりなのか？というように思っていますが。

○石丸市長

え？私が申し上げるのも大変恐縮なんですけど。政治ってそういうところじゃないですか？国会も、県議会も、東京都議会も。そうですね？いやいや、私がどうこうするじゃなくて、一般論ですよ。え？そうですね？小池さんがいて、何とかチルドレンがいたり、まあいなかったりしますけど。だから会派がたって、ここはないですけど、あったりする。え？そういうものなんじゃないかと逆に聞いてしまう。そうですね？

○B 議員

そういうもんだと思いますよ。

○石丸市長

はい。だと思います。

○B 議員

政治の世界っていうのはそういうもんです。

○A 議員

やられたらやり返すゆうぶんですね。

○石丸市長

というのが私の一般的な理解でいます。で、その上で、山根議員がおっしゃる是々非々じゃなくて、私は石丸は許さんとおっしゃるんなら、そのようにビラに書いていかれたらいいのかと。例えですよ？凄く意地悪言ってますよ、例えたんですよ？そんなことにはなっちゃいけないんですけど。というふうに主張されたら、市民がそうだそうだとなったら、それが是ですよ？うん、あんな、人間的に失格だ、みたいな市長を倒せとなったら、それは民意だと思うんですけど。それをやるかどうかは皆さんの判断だと思います。それがはたして議員として必要なのか、ふさわしいのかというのは私が申し上げるものではない、それこそ選挙活動、政治活動の個々の判断だと思います。で、その前のところに話を戻して恐縮ですけども、私がどこまで慮るかについては、この前のところで申し上げたかぎりなんですけど、全ては承知、把握できませんので、それは個々人が主張していくものだと思います。根拠のない誹謗中傷は駄目ですよ。根拠がない誹謗中傷は。なので根拠を持ってこう思う、こうだあだ、っていう情報発信をしていくような時代になっているんじゃないかなという、私の理解です。あの人が可哀そうだな、これを言ったら怒られるかな？と思ったら、ものはどんどん言いにくくなりますが、言いにくい方は表に出られない方が良くないんじゃないかなと。また棘のあることを言いましたけど。それぐらい敵もあって攻撃を受ける立場だと思います、政治家というのは。それはみんながみんな、よーし頑張れーなんて、そんな高校の部活の代表みたいにはならないですよ。それこそ私も今回選挙とありましたけど、8076 人の方は応援してくださっ

たらしいんですけど、無投票も含めたら残りは敵対勢力かもしれないですよ。でもこうだと決めた以上、こうだと認められた以上やるしかないのが政治家なのかなと。ちょっと段々語尾が弱くなるんですけど。

○B 議員

いやいや、おっしゃるとおりですよ。

○副議長

皆さん、時間もきとるんですけど、時間が許すなら一つと三日間ぐらいやりたいんですが、今日こういうことは短い時間ではありますが、これは言っとかんといけんいうのがありましたら…。

○B 議員

あの、色々発信されるのは、私は今の批判っているのは、我々もどんどんどんどん市長に対して批判をしながら当然選挙活動をやってくわけですから、変えていこうという思いは大いに必要で、それは当然あるんだと思います。ただ、一つ心配するのはやはり発信は人権問題にはくれぐれも気を付けて発信していただきたい。

○石丸市長

承知しました。

○B 議員

そのことだけと。もう一つ、おそらく東京三菱なんかでも社章があったと思います。

○石丸市長

無いんですよ、これが。すみません、話の腰を折っちゃって。無いんです。そういう会社がある、いや、多いです。

○B 議員

そうですか。

○石丸市長

すみません。民間の話をしてしまっ。

○B 議員

それだと、今おっしゃるような質問があるのは仕方がないことかしらんですね。そこだったら理解しました。

○副議長

他にございますか？

まああの、時間もございますので、次選挙もございますが、もっとももっとこういうのは発信して、我々も市長もどんどんどんどん言うていかにやいけませんし。

○A 議員

こういう議論っていうのは、考え方わかったんで、確かにそうだし、自分もそういう立場でずっとやってきたんで。批判というか考えをしっかりと出していくっていうのは政治家として大事で。それで撃たれれば自分が打たれ強くなるとか、そういうのが政治の

世界なんですよ。生き残りをかければそうなる。だからそういう考えでやられとることなんで、議員がおっしゃったように、それでも気を付けんといけんところは人権問題も含めてありますし、ということを確認していただいて。市民の皆様に、正しく伝えるという市長という立場は認識していただきたいということを私は申し上げます。

○副議長

はい、ではそういうことで。最後議長…。